

2020年3月9日
株式会社 荏原製作所

当社は、コーポレートガバナンスを有効に機能させるために、毎年、取締役会がどのように貢献しているかを検証し、課題を抽出し、改善を図る目的で、取締役会自身が取締役会全体の実効性について分析・評価を実施しています。

この度、2019年度における当社取締役会の実効性について、分析・評価を行いましたので、その結果の概要を以下の通り開示いたします。

1. 分析・評価のプロセス

当社取締役会は、独立性を持った第三者の協力を得て、各取締役への質問票⁽¹⁾を作成し、その回答結果の分析を行うとともに、質問票の回答結果を踏まえ、各取締役の考えを直接確認するため、すべての取締役と個別インタビュー⁽²⁾を実施し、質問票・個別インタビュー結果分析を行いました。当社取締役会は、上記の分析に関わる第三者機関からの報告に基づき、2020年2月並びに3月の取締役会で取締役会の実効性について議論し、その評価と今後の対応を確認しました。

取締役会における議長の重要性をふまえ、議長に対する評価についても同時に行いました。

2. 分析・評価結果の概要

上記分析の結果、当社の取締役会及び委員会の現状に対する各取締役の評価は総じて高く、取締役会及び委員会において重要な課題に対する十分な議論が行われ、適切に運営されており、昨年度の評価で認識された課題⁽³⁾については、取組・改善の進んでいることが分かりました。

取締役会における議論の充実については、長期ビジョン及び新中期経営計画が十分に議論されたことにより、当社の中長期の重要な経営課題に対する認識が一層高まり、より実効性のある議論が行われていること、取締役会の規模・構成については、社内取締役の人数が減少し、執行兼務の取締役が代表執行役社長一人になったことで規模の適正化とともに、より執行と監督機能が明確な構成になっていることを確認しました。また、社外取締役については、経営経験者及び法律・会計の専門家を中心とした適切なメンバー構成であること、社外取締役のみの会議（社外取締役会議）における自由闊達な議論が取締役会の議論の質の向上に大きく貢献していること、社外取締役による取締役会議長の取締役会の運営状況が高く評価されていることを確認しました。

以上から、当社取締役会は、取締役会の監督機能が十分に発揮され、より高い実効性が確保できていると評価しました。

一方、長期的な課題及び中期経営計画における重要な課題への対応、及びそのような課題の解決を可能とする人材配置・人材育成、社内体制の状況については、定期的に検証しフォロー

ーアップを続け、その実行を強く促していく必要があることを認識しました。また、社外取締役のサクセッションプランについても議論をより一層深めていく必要を確認しました。当社取締役会は、事業・経営環境の変化に対応して、あるべき取締役会の規模・構成を確保するためにこのような取締役会の実効性に関わる重要な要素について、定期的に検証していく必要があることをあらためて確認しました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、上記議論を通して、以下の各事項について今後継続的に取り組むことで取締役会の実効性をさらに高めていくことといたします。

- ・ 企業価値の向上に資する長期的な課題及び中期経営計画における重要な課題への対応に関する継続的な検証・フォローアップ・実行に向けた後押しの強化
- ・ そのような課題の解決を可能とする人材配置・人材育成、社内体制の状況についての確認・検証
- ・ 取締役のサクセッションプランに関する議論の充実
- ・ 取締役会の規模・構成の定期的な検証

以 上

(1) 【質問票の主な項目】

- ・ 取締役会の役割・機能（取締役会、議長、社外/社内取締役、それぞれの機能と役割等）
- ・ 取締役会の規模・構成（取締役会の規模（人数）と構成、社内/社外の構成割合、メンバー構成等）
- ・ 取締役会の運営状況（開催頻度、中長期・重要課題の審議時間、昨年の課題への取組状況、説明と議論の時間配分、議題の内容・量、審議事項の議論の状況、審議結果の反映、議長によるファシリテーション、職務執行報告の状況、資料の内容・質・配付の時期、重要な経営課題等）
- ・ 委員会（指名・報酬・監査）の構成（メンバー構成・委員長）と役割
- ・ 委員会（指名・報酬・監査）の運営状況（事前準備、審議時間、議論の状況等）
- ・ 社外取締役に對する支援体制（研修・教育の機会、情報提供、コミュニケーションの状況等）
- ・ 投資家・株主との関係（執行側からの情報提供、資本市場への情報発信の状況等）
- ・ 各取締役の自己評価

(2) 【個別インタビューの主な項目】

- ・ 事業・経営に対する見方（事業ポートフォリオの変革、コーポレート機能に対する見方）
- ・ 取締役会に対する見方（取締役会における議論、議長に対する見方、取締役会の人数・構成）

(3) 【昨年度（2018年度）の評価で認識された課題】

- ・ 長期的な課題及び現中期経営計画の進捗と課題に関する議論の充実
- ・ 取締役会審議後の取組・改善状況の継続的なモニタリング・実行に向けた後押しの強化
- ・ 取締役会の規模・構成の定期的な検証
- ・ 社外取締役のサクセッションプランに関する議論の充実